



## 安全・安心なくらしと地域づくり

犯罪のない安全で安心な三重の  
まちづくり推進会議 会長  
(三重短期大学 学長)  
法学博士 上野 達彦

かつて日本では、空気の快適さや水の清廉さと並んで、安全で安心な社会でした。そのためにおいしい空気、水、安全・安心は、私たちの側にあるあたりまえの事柄でした。しかし今では、これらにはコストがかかるようになりました。なかでも、安全・安心なくらしは、私たちのいのちや財産にかかわる事柄ですので深刻です。

不審者に自宅を襲われないために、頑丈な鍵を複数かけたり、警備会社と契約したりして、自力防犯がすすめられ、人々に自分の身は自分で守るという意識づけが求められています。

こうしたことを基礎づけるために、三重県では、平成16年10月に「犯罪のない安全・安心まちづくり」条例が制定されました。この三重県条例を契機にして、県内の市町も、同様の条例を制定しました。

しかし、条例が制定されても、犯罪が消滅するわけではありません。また、交番や駐在所の閉鎖などによる治安システムの変化や道路網の発達、価値の多様化の弊害、他文化との遭遇などによって治安は元にもどってはいません。

それでは、地域の安全・安心のために何が必要でしょうか。地域の防犯についての課題は、犯罪ができにくい地域づくりにあります。そのためには、地域防犯についてのしっかりした考え方を地域住民が共有し、治安が悪い場所を判別し、安全・安心についての無関心を拭い去ることにあります。言い換えれば、地域住民が地域の防犯について施設管理能力、環境整備能力をもち、住民パワーを磨き、その対策として自主防犯団体を組織し、防犯パトロールを行い、これを行政が支援するという仕組みが必要になります。

具体的には、犯罪者が嫌がる、犯罪者が避ける地域・街づくり、犯罪ができない、犯罪ができにくい地域・街づくりであり、自分や家族を守るため、他人との協働による防犯のための安全・安心ネットワークづくりが急務となります。

三重県の安全・安心まちづくり



NPO法人

三重県防犯設備協会

<http://www.miebouhan.com/>

## ■ ご挨拶

NPO法人 三重県防犯設備協会  
理事長 松吉 善弘

### 会報誌第6号の発刊によせて

当協会の設立から足掛け五年、私どもの活動もようやく地に足のついたものになってきました。なかでも、三重県および三重県警察本部様から多大なご支援を賜り、「安全で安心な三重のまちづくり・暮らしづくり事業」や警察学校における防犯機器やCP部品を使つての実習・講演など、防犯設備士の技能や知識を十分に発揮する場を与えて頂いた事に深く感謝します。しかし、昨年の刑法犯の認知件数は137万件余、うち侵入窃盗は15万5千件を超えています。このような状況の中で、世界保健機構（WHO）の認定するセーフコミュニティという制度を導入しようという自治体が多くなってきました。人々の防犯意識の向上、自主防犯活動団体の活性化など、地域住民の安全で安心な住環境を構築するために、さまざまな活動が展開されているなか、私どもNPO法人三重県防犯設備協会に与えられた使命も大きなものがあります。わたしたち防犯設備士は防犯のプロとしての専門知識を生かして、さらに、三重県の安全で安心なまちづくりに貢献して参りたいと念じております。今後とも、当協会に対する変わらぬご支援をお願い申し上げますと共に、会員各位の一層のご活躍をお祈り致します。

## ■ 協会の活動内容

### 1. 三重県からの「安全で安心な三重のまちづくり暮らしづくり事業」成功裏に終了



活躍した40名の隊員と理事

平成22年3月20日「安全で安心な三重のまちづくり暮らしづくり事業」を無事終了することができました。この事業は平成21年度の緊急雇用対策として、三重県生活・文化部より受託させて頂いたものです。リーマンショック以降の世界的な経済環境の悪化により、製造現場で働く方々の雇用がいつそう深刻化したことによる緊急雇用対策です。暮れも押し詰まった12月21日より翌年3月20日までの3ヶ月間ではありましたが、働く場所もなく心細い日々を送っていた人々にとっては、干天の慈雨のような事業でありました。

この事業の目的として、「1件でも犯罪被害者をなくそう」

「1件でも交通事故を減らそう」と目標を立てて、新規雇用の方々が一所懸命頑張ってくれました。広報啓発活動が終わった後で、銀行の駐車場や商業施設などで、ゴミを集めてくれました。また、お買い物に来たお年寄りに付き添い、重い商品を持ってご自宅までお送りした人もありました。これ等は、少しでも地域の方々の役に立ちたいという隊員の自主的な活動でした。最終日は閉所式のあと、ささやかな昼食会を行い3ヶ月に亘る活動の幕を閉じました。尚、この事業に参加して次の再就職（以後の緊急雇用もふくめて）をされた方が18名おられます。ご支援いただきました三重県生活・文化部、三重県警察のご関係の方々に厚くお礼申し上げます。また、本事業を正面から支えて下さった理事各位に厚くお礼を申し上げます。

（松吉理事長記）

### 2. 平成22年度三防設総会・スキルアップ講習会を開催

平成22年5月21日 プラザ洞津において、「平成22年度通常総会」が開催されました。ご来賓として、三重県生活・文化部部長 山口和夫様、三重県警察本部 生活安全部 生活安全企画課長 久保博嗣様、（社）三重県防犯協会連合会 専務理事 渡部邦夫様、（社）日本防犯設備協会 業務担当部長 土生俊悦様、愛知県セルフガード協会 理事 伊藤基夫様のご臨席を賜り、13時30分より開始、総会では、5項目の議案について報告、審議が行なわれ、全議案とも承認されました。ひきつづき「スキルアップ講習会」が開催され、17時20分に終了しました。





三重県生活・文化部  
山口部長様



三重県警察本部 生活安全部  
安全企画課 久保課長様



スキルアップ講習で講演いただいた富田講師

「スキルアップ講習会」の内容は下記のとおりです。

① 全国地域協会の活動状況と（社）日本防犯設備協会の現況について

講師：（社）日本防犯設備協会 業務担当部長 土生 俊悦様

② 最近の侵入犯罪の手口と対策について

講師：（社）日本防犯設備協会 特別講師（元警視庁捜査3課、警察庁広域指導官）富田 俊彦様

また、今回は「懇親会」も開催され、参加された方々は情報交換と懇親の場として、和やかで有意義な時間を過ごされ、19時10分に閉会しました。

（前岨副理事長記）

### 3. 南が丘小学校通学路の防犯診断を実施



通学路防犯診断の様様



安全パトロールの会研修会で結果を発表

南が丘地区安全パトロールの会代表 中島様の要請により平成22年6月5日、22日（夜間）南が丘小学校通学路の安全診断を実施し、その結果を6月26日「南が丘安全パトロールの会」研修会で発表いたしました。

南が丘小学校は校区が南が丘1～4、半田、垂水地区と広域にまたがり、児童数も893名と規模の大きい学校です。5日は理事長はじめ理事他4名、教員、PTA、安全パトロールの会、安全部会の方々と2班に分かれて調査、22日は夜間、主なポイントで照度測定を行いました。

南が丘地区は通学路の地下道や公園のトイレなどきれいに整備されており、防犯灯の維持もほぼ完璧にされているなどハード面は大変すぐれていると言えます。

研修会当日は、10時より南が丘小学校図書室で学校長、安全パトロールの会会員、教育委員会、PTA役員、地区委員など関係者約30名と警察からも岩田橋交番から筒井警部補のご臨席をいただき、楠理事から下記の指摘と改善策を提案いたしました。

<公園について>

- ・さつきなどが隙間なく茂っており視認性に欠ける
- ・トイレに引込まれたとき助けを呼ぶ手段なし
- ・水銀灯1灯のみで暗く光の届かない箇所がある

<地下道について>

- ・非常ベルの音は車の騒音で外部で聞こえない

<通学道路の歩道について>

- ・さつきが高すぎ切目なし、見通し利かない
- ・防犯灯のないところがある

トイレへのベル、回転灯の設置、地下道への回転灯、抑止効果を高めるための防犯カメラの設置、さつきなどは子供目線でばっさり刈り込むなどの具体的な提案を行いました。

参加者からは防犯性を高めていくための改善策が分かり、大変有意義であったと好評をいただきました。

（楠理事記）

#### 4. 県営桜島団地において防犯カメラシステムの設計・管理を受託



県営桜島団地(鈴鹿市)



照明ポールへ取付けたカメラと制御BOX

県営桜島団地第1自治会長様より、同地域の治安の改善と犯罪抑止を目的に防犯カメラ設備の設計と管理を依頼されました。

県営桜島団地では、女性の後を付ける不審者や、下校した子供を狙う犯罪者が出没し、保護者や住民の方々の心配の種となっていました。

同団地でも自主防犯パトロールや環境保全に力を注いでいましたが、人

の目の届かない場所や時間帯が問題となっていました。

防犯カメラの設置にあたっては、プライバシーの保護や肖像権に配慮するため、モニターを設置をしないことと、屋外設置に適した録画装置を選定し、設置場所の選定や照度測定を行い、鈴鹿警察署生活安全課との協議を重ねたうえで、三重県県土整備部住宅室の許可を得て設置することができました。

赤外線カメラ22台の効果は絶大で、違法駐車やゴミの不法投棄が無くなったうえ深夜の大声や騒ぎが無くなったとか、ルールやマナーを意識するようになった等安心して生活できる環境になったと喜んでいただいています。

(松吉理事長記)

#### 5. 安全・安心まちづくり推進会議に出席(三重県のホームページで紹介されています)

当協会の松吉理事長が「犯罪のない安全で安心な三重のまちづくり」推進会議(以下推進会議と言う)の委員に委嘱され5月13日三重県総合文化センター内会議室で開催された22年度の第1回推進会議に出席しました。

推進会議は三重県の「犯罪のない安全で安心な三重のまちづくり条例」第5条の規定に基づき開催される会議で、県、市町、県民、関係団体が意見を交換し、相互に連携協力して安全で安心なまちの実現を図ることを目的として平成16年に設立されたものです。会長は三重短期大学学長で、三重県から生活文化部長、三重県警察本部から生活安全部長も含め委員19名で構成されています。当日、松吉理事長から「犯罪のない安全で安心な三重のまちづくり暮らしづくり事業」の実施報告をいたしました。

(事務局 加藤記)

#### 6. 三重県警察学校で新任警察官対象に防犯セミナーを実施



スタンド模型による解錠実演

平成22年2月3日14時10分から15時30分まで津市の三重県警察学校において、新任警察官100名に対し防犯セミナーを実施いたしました。

松吉理事長の挨拶に始まり講義内容は、「侵入窃盗への対策」、「錠前の破壊侵入対策」、「防犯ガラスについて」、「最新のテレビドアホンによる防犯対策」、「防犯センサーの概要」について各理事が説明しました。

CP錠の知識の習得、スタンド見本による実演や一般ガラスと防犯ガラスの破壊体験など今後の防犯活動に役立てていただけるものと期待しております。

新任警察官の皆様の礼儀正しさ、80分に亘る講義中の熱心な聴講態度等に接し、改めて将来の三重県の治安維持に貢献いただけることと、思いを強くした次第です。

(藤村理事記)

#### 7. 県内主要警察の生活安全課を訪問

県内各警察署の生活安全部署責任者の異動にともない5月27日から、6月3日にかけて理事長と各理事が手分けして各署の生活安全担当部署を訪問し情報交換と今後の連携活動を確認しました。

津、津南、亀山、鈴鹿、伊賀、名張、桑名、いなべ、四日市西、四日市南、四日市北、伊勢、鳥羽、松阪、大台の各署を訪問、その他の署は今後、順次訪問を予定しております。



## 8. 三重県警察学校で生活安全担当幹部対象に防犯セミナーを実施



防犯ガラスの破壊実験

平成22年6月16日三重県警察学校において県内各署生活安全担当部署の幹部を対象とした教養入校講座の一環として防犯セミナーを実施、午前8時50分から途中休憩をはさんで160分熱心に受講いただきました。

松吉理事長の挨拶につづき5月に竣工した「県営桜島団地」への防犯カメラ設置事例を紹介しました。

つづいて、錠前のスケルトン模型を使った構造の説明、各グループごとに錠前を分解・組立て、CP錠の違いも理解いただきました。ガラスの説明では、実際に焼き割り、こじ割り、ボールによる叩き割りなどを体験、防犯ガラスの優位性を体感されました。

今回の研修は普段の現場臨場に加えて今後の業務に役立つと好評をいただきました。

(事務局 加藤記)

## 9. ケーブルTV四日市(CTY)の取材に協力



CTYの取材風景

平成22年6月24日四日市南警察署生活安全課 内田課長様の要請により、CTY自主制作番組「ニュースエリア便」の防犯に関する特別取材に参加しました。

当日は梅雨の最中と思えないほどの晴天で、朝から強烈な日差しの中、四日市市三滝台地内 三滝台公会所の周辺(屋外)で番組取材が行なわれ、地域の自主防犯活動グループの方々や近隣の方など多数が参加され、南署の内田課長様の防犯についてのお話しや防犯器具の紹介につづき、当協会の理事長や理事により、住宅ジオラマを使つての侵入犯罪防止の対策や、一般硝子と防犯ガラスの破壊比較実演などを行い約2時間に亘る録画取材協力を終了しました。

(前岨副理事長記)

## ■ 今後の活動計画

- |                       |                     |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 防犯優良マンション認定制度事業化推進 | 2. 学童の安全対策に関する調査・研究 |
| 3. 県・県警と連携した防犯講習会開催   | 4. 全国地域安全運動への協賛     |
| 5. 防犯優良駐車場の事業化推進      |                     |

## ■ 関連行事・イベント、その他

### 愛知県セルフガード協会の年次総会へ出席

平成22年6月16日愛知県セルフガード協会第9回総会が開催され、当協会より理事長、副理事長の2名が出席しました。

総会は名古屋市中区の「KKRホテル名古屋」で行なわれ、会員事業所92社のうち75社が出席され、愛知県警はじめ各所よりご来賓も多数ご出席の中、議事進行後、独立行政法人建築研究所主任研究員(工学博士)樋野公宏氏の講演「これからの防犯環境設計について」も行なわれました。終了後の懇親会にも殆んどの方が参加され、会員のご努力と関係各位の連携のすばらしさを実感いたしました。

愛知県セルフガード協会は、すでに「防犯優良マンション認定制度」や「防犯アドバイザー制度」など社会の防犯ニーズに応じて防犯設備士の活躍の場を拓げる活動を積極的に展開され、当協会も学ぶべきところが多く、今後もお互いの活動について情報交換等を行い、防犯設備士の活動の場を拡充すべく「相互啓発」のお付き合いを継続させていただきたいと思っております。

(前岨副理事長記)

商品紹介・一口メモ

(三防設通信 発送時カタログ、チラシを同封しております)

・美和ロック (株)

1ドア2ロックにCP補助錠を!



PRND2F-1BL型(ST)



<主な特徴>

- ・官民合同会議の試験に合格した防犯建物部品です。
- ・高い防犯性能を誇る鎌デッドとストライク鎌デッドを備えているため、バール攻撃のような暴力破壊行為に対しても高い防犯性能を示します。
- ・操作性と防犯性を兼ね備えたスイッチ式サムターンを標準装備
- ・面付錠なので既存の扉への取り付けも可能です。
- ・1ドア2ロック補助錠として最適
- ・BL-bs認定品です。

万一、空き巣被害に遭っても防犯BL-bs部品交換支援制度が受けられます。

(犯罪行為により玄関用錠前が毀損、破損されてしまった場合に、交換支援金として2万円支援される制度です)

条件：玄関ドア用錠前が毀損され交換などが必要な場合、購入据付けから3年以内、警察への被害届が受理された場合

・パナソニック電工 (株)

LED防犯灯(新商品) ~安全・安心な街づくりのため~



【品番】 NNY20420LE1 (FL20形相当)

【発売日】 平成22年7月21日

- ・LED防犯灯で夜を安全に照らします。
- ・クリアな光で路面を照らします。
- ・蛍光灯器具からのリニューアルに適した器具です。

	FL20形 YF21538 GL		LED
クラスB 器具取付間隔	15m	同じ	15m
電灯料金区分	40VA	1ランクお得	20VA
年間電気料金 <sup>※4</sup>	2,671円(税抜)	約30%減	1,871円(税抜)
光源寿命	8,500時間	約7倍	60,000時間

<特徴> LED光源の使用で省エネ・長寿命

- ① 60,000時間の長寿命光源で、メンテナンスを省力化することができます。
- ② 電灯料金区分が1ランクお得なため、電気代が安くなります。
- ③ 器具取り付け間隔が15mと蛍光灯器具と同じ間隔になりました(従来10m)。

会員紹介

・会員動向

新入会員

なし

退会

正会員 1社

・会員プロフィール紹介

楠 幸治 NPO法人 三重県防犯設備協会 理事 (防犯設備士 第06-14750号)



住所 三重県津市一身田中野93-1  
勤務先 三重電業株式会社 代表取締役社長  
電話 059-232-5115  
E-mail info@mieden.com  
HP http://www.mieden.com/  
趣味 バンド演奏・ライブ鑑賞

より良い社会づくりに少しでも貢献できるよう今後も頑張ってお参ります!

事務局からのご連絡

- ・事務局では現在運用が不十分なホームページの活性化をはかりたいと準備中です。今後とも会員の皆様への情報提供に努力して参ります。
- ・次回発行予定 三防設通信は第7号を平成23年1月にお届けの予定です。
- ・三防設のホームページアドレスは <http://www.miebouhan.com> で、日防設はじめ全国の防犯設備士(業)協会ともリンクが張られておりますのでご利用ください。
- ・今後「三防設通信」をさらに充実して行くために皆様の建設的なご意見をお待ちしております。メール/ [info@miebouhan.com](mailto:info@miebouhan.com) または下記のFAXにて事務局加藤宛送付いただくようお願い致します。